



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

(氏名) 石川 忠彦
(氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,537	5.3	155	△35.9	132	△44.7	137	△30.1
26年3月期第3四半期	10,007	△7.7	242	—	240	—	197	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 265百万円 (△20.4%) 26年3月期第3四半期 333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	8.36	8.28
26年3月期第3四半期	12.18	11.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	15,975	3,130	19.5	188.85
26年3月期	17,071	2,865	16.7	172.96

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,118百万円 26年3月期 2,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
平成27年度3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.3	335	18.7	195	△20.1	125	△75.5	7.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	17,014,000 株	26年3月期	17,014,000 株
27年3月期3Q	501,276 株	26年3月期	532,562 株
27年3月期3Q	16,493,109 株	26年3月期3Q	16,193,506 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調がみられるものの、消費税率引上げに伴う個人消費の低迷、円安による原材料価格の上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは前連結会計年度に引続き、売上拡大、生産効率の向上を図ってまいりました。然しながら、国内では自動車新機種の高価格化に伴う初期費用や、円安による原材料価格の上昇等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は105億37百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は1億55百万円（前年同四半期比35.9%減）となりました。営業外収益に為替差益74百万円、営業外費用に持分法による投資損失12百万円を計上したこと等により、経常利益は1億32百万円（前年同四半期比44.7%減）、四半期純利益は1億37百万円（前年同四半期比30.1%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品につきましては、新機種受注等により売上高は好調に推移しておりますが、立ち上げに伴う初期費用が発生しております。物流産業資材につきましては、復興関連の売上高は順調に推移しておりますが、円安による原材料価格上昇の影響を受けました。機構品部品につきましては、お客様の海外移転等もあり売上高は減少いたしました。この結果、売上高は98億60百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント損失は4百万円（前年同四半期は1億5百万円の利益）となりました。

中国成形関連事業

物流産業資材及び機構品部品の売上拡大に努めておりますが、未だ回復には至っておりません。金型事業も元高による価格競争力の低下により厳しい状況が続いております。その結果、売上高は3億60百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント損失は81百万円（前年同四半期は99百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市所在の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は3億16百万円（前年同四半期は3億16百万円）、セグメント利益は2億42百万円（前年同四半期は2億36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、159億75百万円（前連結会計年度末比10億95百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金が8億90百万円、短期貸付金が3億89百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、128億44百万円（前連結会計年度末比13億60百万円減）となりました。これは主に、設備支払手形が5億90百万円増加した一方、長期借入金が10億19百万円、リース債務が2億66百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、31億30百万円（前連結会計年度末比2億64百万円増）となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び、その他有価証券評価差額金が78百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,785	2,894
受取手形及び売掛金	2,957	2,768
電子記録債権	410	520
製品	358	326
原材料	463	393
仕掛品	57	52
その他	615	226
流動資産合計	8,648	7,181
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,451	2,326
土地	2,610	2,610
工具、器具及び備品(純額)	341	801
その他(純額)	1,033	846
有形固定資産合計	6,437	6,585
無形固定資産	22	19
投資その他の資産		
投資有価証券	937	2,030
その他	1,188	183
貸倒引当金	△162	△26
投資その他の資産合計	1,963	2,187
固定資産合計	8,422	8,793
資産合計	17,071	15,975
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,655	3,459
短期借入金	850	680
1年内返済予定の長期借入金	2,154	1,898
未払法人税等	112	23
賞与引当金	120	48
設備関係支払手形	71	662
その他	1,163	904
流動負債合計	8,127	7,675
固定負債		
長期借入金	5,137	4,373
資産除去債務	36	37
その他	902	757
固定負債合計	6,077	5,168
負債合計	14,205	12,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	815	947
自己株式	△54	△51
株主資本合計	2,868	3,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	151
繰延ヘッジ損益	△23	△21
為替換算調整勘定	△67	△14
その他の包括利益累計額合計	△17	116
新株予約権	15	12
純資産合計	2,865	3,130
負債純資産合計	17,071	15,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,007	10,537
売上原価	8,381	8,922
売上総利益	1,626	1,615
販売費及び一般管理費	1,383	1,459
営業利益	242	155
営業外収益		
受取利息	26	8
受取配当金	4	4
為替差益	153	74
スクラップ売却益	4	14
その他	22	13
営業外収益合計	212	116
営業外費用		
支払利息	118	114
持分法による投資損失	91	12
その他	4	12
営業外費用合計	215	139
経常利益	240	132
特別利益		
固定資産売却益	0	33
特別利益合計	0	33
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	0	2
投資有価証券売却損	—	14
特別損失合計	3	17
税金等調整前四半期純利益	237	148
法人税等	40	10
少数株主損益調整前四半期純利益	197	137
四半期純利益	197	137

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	197	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	78
繰延ヘッジ損益	△25	1
為替換算調整勘定	31	16
持分法適用会社に対する持分相当額	71	30
その他の包括利益合計	135	127
四半期包括利益	333	265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333	265
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	9,363	327	316	10,007	—	10,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	46	—	47	△47	—
計	9,364	374	316	10,055	△47	10,007
セグメント利益又は損失(△)	105	△99	236	242	—	242

(注) セグメントの調整額は、セグメント間取引消去47百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	9,860	360	316	10,537	—	10,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	29	—	29	△29	—
計	9,860	390	316	10,567	△29	10,537
セグメント利益又は損失(△)	△4	△81	242	155	—	155

(注) セグメントの調整額は、セグメント間取引消去29百万円であります。